

平成 23 年 2 月 9 日

各 位

会社名 電気化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 川端 世輝
(コード:4061 東証第1部)
問合せ先 IR・広報室長 大町 徹夫
(TEL 03-5290-5511)

「DENKA100」につきまして

～ 創立 100 周年(2015 年)に向けて ～

当社は 2015 年に創立 100 周年を迎えますが、この度、今後 5 年間の活動指針となる経営計画「DENKA100」の見直しを行いました。

2007 年にスタートした「DENKA100」の基本方針を変えることなく、新たに事業部門ごとに策定した具体的な実行計画(CS13:Challenging Spirit 2013)を基に、大きな目標に向かって全社一丸となって挑戦いたします。また、本計画は、企業が永続的に活動を継続できる必須要件として、社会に貢献し、責任を果たすための行動指針でもあります。

創立 100 年を迎える企業として、次の 100 年も存続できるよう基礎固めを進めるとともに、現在を市場変化・技術変化の時代ととらえ、化学メーカーとして、成長分野において適時に的確に製品を供給することで、未来を拓いていきたいと考えます。



「DENKA100」の骨子

(1) 数値目標 : **2015 年度の最終目標**

連結営業利益 600 億円 以上
営業利益率 10 % 以上

[参考数値]

有利子負債	600 億円以下
配当性向	安定配当をベースに 30% を目指す
海外売上高比率	50% 以上
設備投資額	200 億円/年 規模を想定 (減価償却費相当額)

[2013 年目標 : 3 年間の実行計画 CS13]

連結営業利益 450 億円

(2) 主な具体的方策

< 事業展開 >

- 電子材料および機能・加工製品事業へのより一層の注力
(LED・LiB・太陽電池・FPD 等成長分野でのクラスター戦略推進)
- 大型投資実施製品(クロロプレンゴム・医薬品)の確実な拡大
- 石灰・カーバイド系など素材部門の安定利益確保と次の 100 年を見据えた基礎固め
- 中国・アジア等の成長地域での展開強化
- 現有経営資源を基に、新製品・新事業を積極的に模索
- 環境の変化へ迅速に対応するため、実行計画 CS13 の内容を毎年見直す

< 研究開発と生産技術 >

- 中央研究所の機能強化を始めとする研究開発体制の見直し
- 環境負荷低減の徹底、品質向上、生産技術の継続的改善と、そのための技術統括部門の強化
- 次世代を担う人材の育成

(3) 100 周年記念投資

次の 100 年に向けた、工場・研究所インフラ整備、環境対策、地域貢献、福利厚生等を対象とした、総額 100 億円規模の「記念投資」を今後 5 年間実施 (上掲の設備投資額に含む)

- 青海工場水力発電所の整備・強化
- 中央研究所本館新築
- 社宅・独身寮等整備
- 工場環境整備など

【参考】事業別 営業利益目標

(単位: 億円)

事業区分	DENKA100 (2015 年度)	CS13 (2013 年度)	2010 年度 予想
電子材料	210	170	100
機能・加工製品	160	120	60
有機・無機系素材	180	150	80
新製品・新事業創出 及び その他事業	50	10	10
合計	600	450	250

以上